



「ガザ-脅かされる人道支援」ユニセフ地域代表、即時停戦を訴える

●2024年5月14日 アンマン（ヨルダン）発

ユニセフ（国連児童基金）中東・北アフリカ地域事務所代表のアデル・ホドルは、ラファとガザ北部で戦闘が激化していることを受け、現地の惨状について、以下のように発言をしました。

日本ユニセフ協会より

●紛争の巻き添えとなっている子どもたち

ラファとガザ地区全域での戦闘の激化は、過去218日間、絶え間ない悪夢に耐えてきた何十万人もの子どもの苦しみをさらに深めています。自分たちが選択したわけではない紛争の巻き添えとなって苦しんでいる子どもたちを目の当たりにすることなど受け入れられません。

先週、ラファでは以前から懸念されていた軍事作戦が開始され、44万8,000人以上がマワシヤディール・アル・バラといった安全ではない地域に追いやられました。一方、激しい爆撃と地上作戦はガザ北部へ広がり、ジャバリヤ難民キャンプやベイトラヒアといった地域に破壊の痕跡を残しています。少なくとも6万4,000人が、壊滅状態の家々から避難することを余儀なくされています。

すでに憔悴し、栄養不良に陥り、数々のトラウマの出来事に遭遇している市民たちは、今、コミュニティの廃墟の中で、さらに多くの死や負傷に直面し、さらなる退避を強いられようとしています。ガザ地区全域のすべての住民にとって、唯一の生命線となっている人道支援活動そのものが、脅かされています。



© UNICEF/UNI571250/El Baba

戦闘が激化する南部のラファから、必要最低限の物だけを持って避難する親子。（ガザ地区、2024年5月6日撮影）

●脅かされる人道支援

直近の戦闘激化以来、ユニセフがガザ地区へ支援物資を輸送することはさらに困難になっています。燃料不足は依然として深刻な問題です。北部の避難区域内にあるカマル・アドワン病院、アル・アワダ病院、インドネシア病院など、主要な病院が戦闘に巻き込まれているため、重要な医療用品の搬送が著しく妨げられ、多くの人命が危険にさらされています。飢饉の危険が差し迫っている人々には、今やいかなる支援も届きません。

また、ガザ全域の水道インフラや、安全な水と衛生設備へのアクセスについても非常に憂慮されます。北部では、極めて重要な井戸が甚大な被害を受け、ラファでは少なくとも8つの施設が稼働不能となり、約3万人が影響を被っています。その大半を子どもたちが占めており、汚れた水を使わざるを得ない状況では、重い病気にかかる可能性があります。水が使えなくなった場合、最も苦しむのは子どもたちです。

国境が速やかに開放され、人道支援組織が安全に移動できる状況下で、ガザのすべての子どもにとって不可欠な、命を守る支援が提供されるようにならなければなりません。そうでなければ、私たちがすでに目撃している悲劇よりもっとひどい惨事が起きるでしょう。それは何としても早急に避けなければならないのです。紛争が7カ月以上続き、何万人もの命が失われ、数え切れないほどの停戦の訴えがなされたにもかかわらず、暴力は続いています。武器が鳴りをひそめ、子どもたちの権利が守られることが極めて重要です。想像を絶する恐怖に耐えてきたガザの子どもたちは、即時停戦と平和な未来への機会を得て当然なのです。



© UNICEF/UNI575304/El Baba

ユニセフから服やおむつなどの新生児に必要な不可欠な物資を受け取った、生まれたばかりのウィダッドちゃんと母親。（ガザ地区、2024年4月29日撮影）

●「ガザ人道危機緊急募金」にご協力ください！

●全国の郵便局（ゆうちょ銀行）窓口からお振込みできます。

振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会

*通信欄に「ガザ」と「K1-350」と明記ください。

*窓口でのお振込は、送金手数料が免除されます。

*寄付は所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置があります。



日本ユニセフ協会
ガザ人道危機緊急募金特設ページ

- パネル展は市町行政を中心に協力をお願いしていますが、今年度は県内全市町での開催が実現する見通し。すでに8市1町（プラス山口県庁）でパネル展をおこないました。
- 新型コロナウイルスが5類に分類されて以降、休止されていたイベントも再開が増えつつあります。これらイベント主催者のご理解も得ながら、県協会でもできる限り参加し、ユニセフの活動を知っていただく取り組みを進めていきたいと考えています。

●各地でパネル展を開催しました！

●県内全市町単位での年一回以上を目標に、2024年上半期も各地でパネル展を開催しました。

●下関市

3月18日(月)～3月25日(月)
下関市役所1階ロビーにて



●美祇市

4月11日(木)～4月25日(木)
サンワーク美祇ロビーにて



●岩国市

4月15日(月)～4月26日(金)
岩国市役所1階ロビーにて



●光市

5月7日(火)～5月24日(金)
あいぱーく光1階ロビーにて



●下松市

5月13日(月)～5月20日(月)
下松市役所1階ロビーにて



●長門市

5月21日(火)～5月31日(金)
長門市役所1階ロビーにて



●山陽小野田市

5月27日(月)～6月6日(木)
高千帆地域交流センターにて



●山口市

5月22日(水)～5月31日(金)
山口市立鴻南中学校にて



●田布施町

6月7日(金)～6月17日(月)
西田布施公民館ロビーにて



●協力団体イベントに参加出展しました！

●コープやまぐち萩センター感謝祭への出展

3月16日(土)
コープやまぐち萩センターにて



お店で残ったカレンダー募金のカレンダーを持ち込んだところ、来場者の多くの皆さんに募金協力していただきました。

●コープやまぐち60周年フェスタへの出展

3月30日(土)～31日(日)
きらら博記念公園きららドームにて



子どもたちを対象に輪投げゲームを通じてSDGsやユニセフのことを知ってもらう取り組みをおこないました。

●春休みユニセフ映画会を開催しました！

山口県ユニセフ協会がお勧めする優良映画作品の上映会を春休みに合わせておこないました。今回の作品は「歌声にのった少年」。戦争の絶えないパレスチナ・ガザ地区で生まれ育った少年が幾多の困難を乗り越え歌手になる夢を実現する姿と、そのことに希望を見出すパレスチナの人々を描いた映画でした。

●山口県立図書館レクチャールーム 3月24日(日)開催



歌声にのった少年

現在の紛争以前の実話に基づく映画でしたが、それでも壁に囲まれさまざまな制約の中で厳しい生活を強いられる人々の暮らしや心情が伝わってくる作品でした。戦闘が激化している今、ガザに暮らす人々はこの映画以上に悲惨な状況に置かれています。(1ページを参照ください)



すでにユニセフ映画上映会は3回目。リピーターの方が多く来場いただきました。ただ子どもたちにも観てもらおうと春休み期間中に開催したものの、子どもたちの来場者数が少なかった点は残念でした。



映画上映会に合わせ、最新のガザ地区の様子を撮影したパネル展示をおこない、募金呼びかけをおこないました。来場者の皆さんから多くの善意をよせていただきました。



●ユニセフ募金贈呈式がおこなわれました。

さまざまな募金活動に取り組まれているコープやまぐち様。ユニセフ募金も毎年組合員の皆さんに呼びかけていただいております。今年も多くのご善意を贈呈いただきました。

●コープやまぐちユニセフ募金贈呈式 コープやまぐち本部にて 6月4日(火)開催



- 式ではコープやまぐち山崎理事長から山口県ユニセフ協会谷澤会長に目録が贈呈され、ユニセフからは感謝状をお渡ししました。
- 宇部日報・山口新聞からの取材を受けました。

●当協会では世界の子どもたちのことやユニセフ活動を知っていただくための出前学習会を積極的に行いたいと考えています。
ご希望があれば対象年齢（小学生～大人）、人数、スタイル（講座、ワークショップ等）を問わずボランティア講師が参りますのでお気軽に県協会にお声掛けください！

●「ユニセフパネル展」開催します！

●上関町

・場所： **上関中央公民館** ・期間： 7月 3日(水)～ 7月16日(火)15:00まで

●岩国市

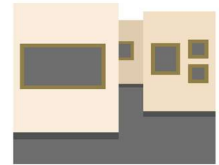
・場所： **岩国市立中央図書館** ・期間： 8月 7日(水)～ 8月16日(金)15:00まで

●宇部市

・場所： **宇部市立宇部図書館** ・期間： 8月 9日(金)～ 8月18日(日)

●山口市(阿知須)

・場所： **山口市立阿知須図書館** ・期間： 9月27日(金)～10月24日(木)



●宇部で開催の「平和フェスタ」でユニセフ活動について講演します！

宇部市・山陽小野田市を中心に活動されている「医療生協健文会」さんが毎年開催されている「**平和フェスタ**」にて、「**世界の子どもたちとユニセフ活動**」について報告する予定です。一般参加も大歓迎とのことなので、お近くの方はお気軽にご来場ください。

・場所： **宇部市多世代ふれあいセンター** ・開催日時： **9月28日(土)10:00～11:30**

賛助会員募集してます！

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によって支援いただく方法です。
現在山口県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。
山口から世界の子どもたちを支えましょう！

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口 5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口 2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口 100,000円

賛助会員期間は、入会日より1年間です。賛助会費は寄付金控除の対象になります。
一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限らせていただきます。

いつでもボランティア大歓迎！！

ユニセフや世界の子どもたちに関心のある方はもちろんあなたの好きなことをユニセフ活動にいかしてみませんか？

♪ **絵や文章を書くのが好きな方**

♪ **子どもが好きな方**

♪ **手作りするのが好きな方**

♪ **パソコンが得意な方**

♪ **学習会の組み立てを一緒に考えてくれる方**

などなど



山口県ユニセフ協会

〒753-0083
山口市後河原210番地
TEL083-902-2266
FAX083-928-5416
E-mail: info@unicef-yamaguchi.jp
URL: <https://www.unicef-yamaguchi.jp>

県協会地図



ボランティア登録、資料請求、その他お問い合わせ等は、事務局までご連絡ください。

また、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

受付日： 月・火・水・木・金
受付時間： 10:00～16:00
山口県教育会館の裏になります。